

様式3

平成18年度 傾斜的研究費(特定)(全学分)(戦略分・公募分) 研究報告書

研究テーマ区分 [①都市形成に関わる研究 ②特徴ある教育プログラム開発をめざす研究]

研究課題名	自然環境の保全・保護とその適正利用の人材養成に関する 地域連携型文理融合プログラムの調査・研究	
研究者または研究代表者名	所属部局名	職 位
菊 地 俊 夫	都市環境科学研究科	准教授
研究分担者名	部局名・所属研究機関名	職 位
岡 秀 一	都市環境科学研究科	准教授
研究実績の概要 (600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)		
<p>本研究は自然環境の保全・保護と適正利用に関するプログラムを自然科学的、および人文・社会科学的手法を相互に関連させて開発し、地域連携（フィールドワークや実地研修、あるいは参与活動など）を通じて効果的に活用する方法を検討することを目的とした。自然環境の保全・保護と適正利用の実態を知床半島と屋久島、および大都市近郊の横浜市青葉区寺家で実証的に調査し、地域の環境を理解するプログラムとして動態地誌のフレームワークをもつ文理融合プログラムが有効であると結論づけることができた。従来のプログラムは地域や環境の1つの要素に焦点を当てたり、すべての要素を羅列的・総花的に説明したりするものであった。それに対して、文理融合プログラムは地域や環境を構成する要素間の相互関連性を重視し、地域や環境を特徴づける要素を抽出し、それを中核にしながら他の要素の関連を明らかにして体系的に説明するものである。実際、首都大学東京のオープンユニバーシティや寄附講義で文理融合型プログラムを実験的に試み、地域や環境を総合的に理解する能力が高められたことを確認した。また、オープンユニバーシティの講義や寄附講義において、フィールドワークや実地研修を行い、地域連携型の文理融合プログラムを模索した。フィールドワークや実地研修が有効であることは確認できたが、地域の人々との協力体制や系統的なプログラム内容など不十分な点も課題として残された。いずれにしても、本研究は自然環境の保全・保護と適正利用を担う人材養成に関する効果的で魅力的なプログラムの構築に資することができた。このような人材養成のプログラムは将来的に自然環境管理に関する資格認定にもつながり、本学の教育における大きなセールスポイントになると思われる。なお、本研究の成果は、平成19年度の「サポートレンジャー養成講座」と「自然ツーリズム学Ⅰ・Ⅱ」の授業に反映される。</p>		

研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]			
著者 (講演者)	論文題目 (発表題目)	発表誌 (発表大会名)	年月
菊地俊夫	東京大都市圏近郊におけるルー ラリティの活用と農村再編の社 会的持続性	学芸地理学会	2007年6月
Kikuchi, T., Obara, N., and Kishimoto, S	Recreating rurality of suburban dairy farming region in the outer fringe of Tokyo metropolis	<i>Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University</i> , <b>41</b> , 61-73	2006年7月
Kikuchi, T.	Sustainable development of suburban dairying with the recreating rurality in the outer fringe of Tokyo metropolis	International Geographical Union, Commission on Sustainability of Rural System	2006年7月
菊地俊夫・犬井正	「森を知り森に学ぶ」	二宮書店	2006年10月
菊地俊夫	甲府盆地におけるブドウ生産の 新たな展開	地理, <b>52-3</b> , 82-90	2007年3月
Kikuchi, T.	Sustainable development of organic vegetable food system with creating social capital in the outer fringe of Tokyo metropolitan area	<i>Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University</i> , <b>42</b> , 121-133	2007年3月
堀信行・菊地俊夫	「世界の砂漠」	二宮書店	2007年3月
岡 秀一	「地域を調べ地域に学ぶ」	古今書院	2006年9月
岡 秀一	小笠原諸島父島における20世紀 中の水文気候環境の変化	地理学評論, 79-10, 516-526	2006年9月
岡 秀一	小笠原諸島に生育する固有樹種 の季節的な乾燥環境への適応メ カニズム	日本地理学会2007年春季学 術大会, 東京	2007年3月
岡 秀一	埼玉県見沼田圃の耕作放棄地 における植生分布とその成立要因	日本地理学会2007年春季学 術大会, 東京	2007年3月
岡 秀一	富士山の樹木限界の群落構造と その動態	気候影響・利用研究会シン ポジウム「地球環境変動時 代における環境モニタリン グの役割」, 東京	2007年3月